

## 会 議 録（公開部分）

会 議 名	平成29年度 野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第2回（専門部会）相談支援部会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神障害者地域移行・地域定着支援事業について</li> <li>2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う検討事項について</li> <li>3 指定特定相談支援事業所の指定について</li> </ol>
日 時	平成29年9月26日（火） 午前10時から午前12時まで
場 所	市役所8階 大会議室
出 席 委 員	<p>部会長 堀口美千代 副部会長 亀井 宏純          委 員 五十嵐孝子 委 員 市岡 武          委 員 上野 友和 委 員 柄澤 隆一          委 員 古藤 栄一 委 員 土屋由香里          委 員 中野 徹也 委 員 中村 成彦          委 員 仁木 純子 委 員 鈴木 良造          委 員 池田亜由美 委 員 石津 聡子          委 員 永島 徳子 委 員 吉田 利恵</p>
欠 席 委 員	委 員 石塚 隆昭 委 員 田中真由美
事 務 局 等	<p>齋藤 剛（障がい者支援課相談支援係長）          上野 慎司（障がい者支援課相談支援係主事）          宇佐見千紘（障がい者支援課相談支援係主事）          加藤 満子（オブザーバー、野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会長）</p>
傍 聴 者	無し
議 事	平成29年度野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第2回専門部会（相談支援部会）の会議結果（概要）は、次のとおりである。

事務局・齋藤係長	<p>1. 開会</p> <p>平成29年9月26日午前10時、開会した。会議録作成のため録音機を使用することの了承を得た。石塚委員、田中委員が欠席、オブザーバーとして加藤満子 野田市自立支・障がい者差別解消支援地域協議会長が出席することを報告。</p> <p>2. 部会長あいさつ</p> <p>以降、堀口部会長が会議を進行した。</p> <p>3. 議題</p> <p>1 精神障害者地域移行・地域定着支援事業について</p>
堀口部会長	<p>議題1について、事務局の説明を求める。</p>
事務局・宇佐見主事	<p>千葉県が事業者を指定しているが、県では次の指定事業所を検討しているところである。これまで指定事業所が開催してきた地域移行支援協議会については、県主導により開催する旨を報告する。</p> <p>「こころの作品展」については、千葉県との協議の上、開催していくことになるため、県との協議内容を報告していく。</p>
堀口部会長	<p>地域活動支援センターなど、いろんな事業所から作品を出して見ていただいていると思うので、長期入院者に限らず作品を募ってはどうか。</p>
事務局・宇佐見主事	<p>長期入院者に限らず、昨年同様に地域活動支援センターなどに協力を募り、「こころの作品展」を開催していく。</p> <p>(全委員、異議無し)</p> <p>2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法の一部を改正するための法律の施行に伴う検討事項について</p>
堀口部会長	<p>議題2について、事務局の説明を求める。</p>
事務局・宇佐見主事	<p>平成30年度の法改正について、厚生労働省より詳細が公開された部分があるため、その内容について報告する。</p> <p>(全委員、異議無し)</p> <p>3 指定特定相談支援事業所の指定について</p>

<p>堀口部会長</p> <p>事務局・宇佐見主事</p>	<p>議題3について、事務局の説明を求める。</p> <p>9月1日付けで新たにアイナケアプランセンターが特定相談支援事業所として本市の指定を受けたことを報告するもの。 野田市の特定相談支援事業所としては、10か所目となる。</p> <p>(全委員、異議無し)</p>
<p>堀口部会長</p> <p>事務局・齋藤係長</p>	<p>全ての議事を終了する。</p> <p>平成30年度の障害福祉サービスの改正について9月6日に開催された子ども部会において説明したところ、法改正の情報提供について相談支援専門員からの情報提供が一番頼りになるとの話があった。</p> <p>周知する際は、相談支援専門員が情報を把握した上で利用者や保護者に適切な情報提供やニーズの把握をしていただき、効果的にサービスを提供していただきたいと子ども部会より要望があった。相談支援専門員として出席いただいている委員については、制度を熟知のうえ案内していただくよう依頼する。</p>
<p>堀口部会長</p>	<p>部会が単なる報告会になっているため、今後の相談支援部会をどう機能、活用させていくかを検討したい。2時間の枠があるので、これからどうしていくかを考えていきたい。</p> <p>相談支援専門員の現状は、問題が山積みであり、どうしたらいいか悩んでいる。年に数回であっても、意見交換や話合いなどができればと考えている。その中で、本会に挙げていくものは挙げていく。問題があれば、課題として挙げていければと考えている。</p> <p>相談支援専門員だけでなく他機関の方も出席しているので、それぞれの立場を上手く生かした情報交換等を行うことが理想だと思っている。いかがか。</p>
<p>事務局・齋藤係長</p>	<p>事務局としても、情報発信、議案審議だけでなく、現場の声や現状の問題点などを部会で話合い、取りまとめたものを本会に報告することが本来の部会なのではと考えている。</p>
<p>堀口部会長</p>	<p>他機関の方から相談支援専門員に問題を投げかけてもらうことも貴重な意見となる。相談支援専門員が適切に対応できる件数に限界がある中、今後、野田市ではどう掘り下げていただけるのかと感じている。また、どこまで件数を受け持ったらよいか大きな問題点であり、相談支援事業所が野田市には少ないことも課題である。</p> <p>他部会の内容も聞きながら、相談支援部会においても検討していきたい。</p>

中村委員	昨年度、こころの作品展を開催したときは、ポスターを作成した。担当として12月から準備を始めてギリギリだった。次の部会を待ってから準備だと時間がない。具体的にどのように進めるのか。
事務局・齋藤係長	作品展について、12月開催の部会でスケジュールを決めて準備するのは厳しいと感じている。事務局側でスケジュールを立てて、各施設に作品の提供を依頼する方向になる。
中村委員	北コミュニティセンターで開催してきたが、一昨年に喫茶店だけでは作品が展示できず、昨年度からロビーにも展示した。喫茶店で作品を見てコーヒーを飲みながら、利用者と交流することが目的だった。
事務局・齋藤係長	<p>去年まではいちいの会が県からの委託を受け、事業の一環として展示会を行っていた。昨年度までは予算があったが、今回は予算がなく、市の財産としてふれあいギャラリーを確保して、多くの来庁者に見ていただくこととして方向性をつけた。</p> <p>いちいの会をはじめ、経験ある事業所に確認しながら進めていきたい。</p>
加藤会長	北コミュニティセンターで行う意味はあった。かつて入院していた精神障がい者の方達が喫茶店で働いている姿を見もらうことで、今入院中の方が作品を見て勇気付けられる。地域の方にも知ってもらえる。市のふれあいギャラリーでは多くの方に見てもらえるよう、工夫をしてもらいたい。
堀口部会長	作品展は、ふれあいギャラリーで開催する利点を活かしながら、今までのよい部分をどのように残せるかを検討して準備してもらいたい。
五十嵐委員	資料1の自立生活援助と就労定着支援の支給量は、市としてどのくらいを考えているのか。
事務局・齋藤係長	就労支援部会でも同じような話になり、様々な議論があった。また、これからサービスが開始となったときにサービスの担い手があるのかなど課題が挙がったが結論には至っていない。
五十嵐委員	のだネットでは、退院したいとの相談も受けるが、病院側はグループホームへの入居を勧めることが多い。グループホームでなくてもやっつけていける方もいる。自立生活援助があって、支援してもらえるとということを医師にも理解してもらえればいいと感じている。
市岡委員	当法人では、相談支援事業所が地域移行、地域定着支援を進

	<p>めているところである。一人暮らしを支えることのできる相談員を増やすことが必要と感じている。</p>
柄澤委員	<p>就労支援部会でも自立生活援助と就労定着支援について話題になった。就労定着支援については、社会福祉協議会で行っている日常生活自立支援事業と重なる部分もあり、どう分けていくのか、また、サービス利用は3年間であり、対象者も限られていることが話題となった。</p>
中野委員	<p>社会福祉協議会でも制度開始にあたり、ケース会議などを開いてそれぞれの役割を明確にすることが必要になってくると考えている。</p>
池田委員	<p>部会とは関係ないが、子ども支援室の機能強化のため意見を頂きたい。</p>
市岡委員	<p>思春期の子どもの相談を受けていることを周知してはどうか。</p>
堀口部会長	<p>放課後等デイサービスの事業所が増えている。しかし、サービスの質が低い事業所も多く、質の向上が課題である。</p>
加藤会長	<p>放課後等デイサービス事業所に対する市の訪問等は、行う予定があるか。</p>
事務局・齋藤係長	<p>放課後等デイサービスの指定は県であり、市が単独で立入調査や指導を行うことができないが、県が立入調査を行う際には同行していきたい。</p>
五十嵐委員	<p>子ども支援室では、自宅への訪問は行っているのか。</p>
池田委員	<p>要望に応じて訪問を行っている。 事業所と連携強化を図りたいが、柏市では、関係機関とこども発達センターとの連携はどうか。</p>
市岡委員	<p>柏市では、連絡会があり事業所が集まって情報交換を行う機会がある。</p>
吉田委員	<p>現場でも今後どう療育していくかなどの声を聴く。具体的に支援が繋がらないことがもどかしいとの声を保育士から聞く。情報交換などできないか。</p>
池田委員	<p>保育課と話をしており、今後の連携について調整中である。</p>
柄澤委員	<p>放課後等デイサービスを利用していた方が学校卒業後に就職</p>

池田委員	<p>をした場合は障害者就業・生活支援センターが引き継ぐが、学校からは情報提供があるが、それ以外からの機関から情報をもたえない。子ども支援室を利用しても学校と保護者からの情報のみ。その結果、保護者には何度も同じ話をさせることがある。情報共有できる仕組みが欲しい。</p> <p>子ども支援室では、保護者の同意が頂ければ、情報提供は可能である。</p>
柄澤委員	<p>迅速に障害福祉サービスを利用する必要がある方の計画相談作成について、どれくらいの期間を要すれば対応できるか教えてほしい。</p> <p>障害者就業・生活支援センターは、就労継続支援A型事業所の情報を集めているが、さらに情報が欲しい。</p>
堀口部会長	<p>情報共有・情報提供は相談支援専門員の業務でもある。利用者からの聞き取りにより事業所の情報や課題が把握できることもあるため、今後につなげていきたい。</p>
市岡委員	<p>野田市としても、今後どういった相談支援を行っていくかを考えていく必要がある。</p>
事務局・齋藤係長	<p>次回の相談支援部会は、12月13日（水）午後1時30分 に開催する。ただし、緊急に諮りたい案件が発生した場合は、 前倒しで部会を開催する場合がある。また、協議したいことが あれば、事務局に提案あれば議案に加えることも可能である。</p> <p>4. 閉会 午後12時、閉会した。</p>